

## 大船渡市とソフトバンク株式会社とのDX推進及び教育支援に関する連携協定締結式の開催について

### 1 趣 旨

市とソフトバンク株式会社は、令和元年5月17日、ICT活用による教育の推進に資することを目的として「教育事業連携協定」を締結し、小中学校でのプログラミング教室や情報モラル学習、環境学習、さらには協定を基盤とした大船渡市デジタル推進アドバイザーの設置などを進めてきました。

その後、市からソフトバンク株式会社に対し、「両者の連携の強化、パートナーとしての位置付けを明確化したい」旨を申し入れ、以降、両者で調整を進めてきました。

今般、それぞれの持つ物的・人的・知的資源を有効活用し、緊密に連携してDX推進及び教育支援に関する取組等を行うことにより、デジタル技術を活用した地方創生の推進及び市民サービスの向上を図ることを目的として、「大船渡市とソフトバンク株式会社とのDX推進及び教育事業支援に関する連携協定」を締結するものです。

2 日 時 令和7年8月6日（水） 午後1時30分～

3 場 所 大船渡市役所本庁 応接室

### 4 出席者

- (1) ソフトバンク株式会社：公共事業推進本部 本部長 柏木 陸照氏、同第二事業統括部 東日本自治体 DX 推進室 室長 宮入謙氏、CSR 本部地域 CSR 統括部北海道・東北地域 CSR 部参与 兼 公共事業推進本部 第二事業統括部 東日本自治体 DX 推進室 担当課長 磯崎靖彦氏（市デジタル推進アドバイザー）
- (2) 市：市長、教育長、企画政策部長、教育次長、デジタル戦略課長

### 5 協定項目

- (1) DXを活用した市民サービスの利便性向上に関する事項
- (2) 行政実務における業務改革及びその最適化に関する事項
- (3) デジタル化を支える基盤構築に関する事項
- (4) デジタル化を推進するための人的支援に関する事項
- (5) 学校教育・生涯学習におけるICT機器の利活用支援に関する事項
- (6) その他、両者の協議により必要とされた事項



教育事業連携協定に基づく取組の例

